

ひよこ組

今年度も残りわずかとなりました。

入園当初はハイハイをしていた子どもたちも、今では園庭を走り回ったり、ジャンプをしたりと大きく成長しました。

また、色々なことが習慣となり、食事の前に袖をまくって手洗いをし、戸外に出る時は自分で靴下を履く、帽子を被るなど、進んで行っています。保育者の上着まで「どうぞ」と持ってきてくれるほどです。

最近感じることは、保育者が伝えていないことも、友だちの様子を見て真似をしたり、できるようになっているということです。一年間こあら組と異年齢の交流もたくさんあり、色々な経験が出来ました。もうすぐこあら組です。安心した気持ちで進級を迎えられるように見守っていききたいと思います。

こあら組

梅や桃の花も咲き始め春の訪れを感じられるようになりました。いよいよ、こあら組で過ごすのも残り1か月です。

最初は不安で泣いていた子どもたちですが、今では、お友だちと手を繋ぎ、楽しそうに遊んだり、自分で出来ることが増え、靴下や靴を履こうとしたり、意欲的に身の回りのことを行えるようになりました。

節分の行事、豆まきでは鬼に驚きながらも「鬼は外」「福は内」と豆を投げて頑張りました。そして、外遊び見学会では、子どもたちの日々の姿を見て頂けて良かったと感じています。ご参加ありがとうございました。

うさぎ組への進級まであと少しですが、一日一日を大切に、子どもたちと笑顔で過ごしていきたいと思えます。

うさぎ組

日に日に厳しい寒さも和らぎ春の陽気を感じられるようになりました。

先日はお忙しい中、乳児参観にご参加頂きありがとうございました。進級当初はドキドキしていた子どもたちも、この1年で出来ることが増え、心も身体もたくましく成長し、友だちと言葉のやり取りをしながらイメージを膨らませ、ダイナミックにごっこ遊びを楽しむようになりました。

先月からは、「イス取りゲーム」など簡単なルールのある遊びも楽しんでいます。ますます頼もしくなっています。

うさぎ組で過ごすのもあと1か月、子どもたちとの時間を大切に、進級を心待ちにしながら楽しく過ごしたいと思えます。

年少組

節分の日には、それぞれが「泣き虫鬼」や「野菜嫌い鬼」を退治しようと張り切り、「鬼は外」と元気な声で豆を投げていました。鬼を目の前に強ばった表情を浮かべる子もいましたが、途中でカシワニくんも登場し、一緒に豆まきを楽しみました。

もうすぐ「ひな祭り」ですね。園内に飾ってあるひな人形を見学し、日本古来の行事に親しみを持てるようにしていきます。

年少組も残り1か月となりました。楽しかったことを発表し合ったり、自身の成長にも気づけるよう、1年間を振り返っていききたいと思います。また、お世話になった年中、年長組に感謝の気持ちを持ち、4月から進級することに期待を膨らませて過ごしていきたいです。

年中組

2月3日節分の日には、自分で作ったお面や三宝を大事に扱い、元気に豆まきをしたり、鬼役になったりしました。鬼を見るとびっくりして固まってしまう子、涙が出てしまった子、勇敢に立ち向かう子などさまざまでした。それぞれ、自分の中の退治したい鬼を思い浮かべながら、豆まきを楽しみました。

1年間のまとめとして作品集を作ります。頑張ったことや楽しかったことを振り返り、自身の成長に目を向けながら作品を綴っていきます。持ち帰った際にはご家族でご覧になり、お子さまから一つひとつの作品のお話を聞いてみてください。

4月からはいよいよ年長組ですね。年長組になる期待と自覚を持ちながら、残りの年中組の生活を充実させていきましょう。

年長組

桜の木々が芽吹き始め、少しずつ春の訪れを感じます。

先日の卒園遠足では、映像の世界でお絵描きや、ボールプール、砂遊びを時間いっぱい楽しんでいました。何より、お弁当の時間を心待ちにしており、友だちと見せ合い嬉しそうにしていました。

作品集作りは、一年を振り返りながら行います。また、文集には楽しかったこと、大きくなったなら何になりたいかななどを書いていきます。

卒業式の練習も始まりました。式典に参加する態度を知り、先生にお別れの挨拶をします。また、贈呈式では年中、年少児に向けて記念品を贈ります。アイロンビーズを使って心を込めて作りました。

残り少ない園生活ですが、先生やお友だちと楽しく過ごし、たくさんの思い出を作っていきます。

《進級・就学を迎える皆さんへ》

3月は別れの月、4月は始まりの月です。新しい経験は成長するための第一歩。前向きな気持ちを持ちましょう。

そこで、新しい生活をスムーズに始めるために、生活習慣を見直してみませんか。

以前、千葉県教育委員会でこのような取り組みをしていましたので、紹介します。

○親子で取り組むあいうえお

「あ」いさつをする 挨拶は人間関係の基本です。関係作りのきっかけにもなります。気持ちの良い挨拶や返事をしましょう。

「い」つも〇〇する 早寝早起き朝ごはん、手洗いうがいなど、いつもすることを決めて、一つずつできるようにしましょう。

「う」んどうをする 体力の向上だけでなく、五感を刺激して脳の活性化に繋がります。

「え」ほんをよむ 読書は心の栄養です。お子さまと一緒に読んだり、読み聞かせたりして本の世界を楽しみましょう。

「お」いしくたべる 家族でおいしく食べましょう。作り手に感謝の気持ちをもったり、食育にもなります。

幼い頃の親子の関わりはその後の人格形成の基本となります。ご家庭でぜひ取り組んでみてください。